

きずな



かすや 町を盛り上げる会(粕屋町)

SNSから広がる地域の輪 ～かすや 町を盛り上げる会(粕屋町)～

福岡県の北西部に位置する人口約5万人の粕屋町は、福岡市に隣接しながらも豊かな田園風景が広がる町です。

町のシンボルである広大な駕与丁公園（かよいちようこうえん）は、四季折々の自然を満喫できる安らぎと潤いの空間として、週末には町内外から多くの人々が訪れます。

今回は、都市と自然が調和した粕屋町で活動する「かすや 町を盛り上げる会」取材しました。



◀お花見BBQの様子

Facebookから始まった地域の熱い想い

「かすや 町を盛り上げる会」は平成24年、Facebookを通じた交流会をきっかけとして、7名のメンバーで活動を開始しました。

Facebookで「粕屋町」と検索してつながった人たちが町内の定食屋に集まり、「ここからどれだけの人が動くのか、試してみよう！」という意気込みで最初の交流会が企画されました。その後、コロナ禍を経て現在は5名の運営メンバーでSNSを活用した活動を続けています。

参加者には、粕屋町在住者、通勤・通学で粕屋町に縁のある人々に加え、「通過するだけで粕屋町が好き」という方もおられます。

粕屋町のことが大好きで、「粕屋町がより暮らしやすい町になったら良い」という熱い想いを持つ人々が集い、交流を深めるためのさまざまなイベントの告知や開催などを主な活動としています。

「かたらんね」で出会う、新しい未来と仲間

「かたらんね」は、参加者が仕事、趣味、推しなど自身の関心事や粕屋町の未来等について、自分事として「かたり（＝参加し）」、「語る」交流会です。

令和6年度は、粕屋町議会事務局からの要請を受け、同事務局との共催企画として「かたらんね」を開催しました。この企画では、都市計画や子育てといった特定のテーマを設定し、「どのような粕屋町になってほしいか」という参加者の町への想いを町議会議員や町職員とともに語り合いました。

この企画が好評だったため、令和7年度も引き続き議会事務局との共催企画を実施する予定です。今後は、粕屋町で活動するさまざまな団体が、それぞれの活動内容を発表できるような「かたらんね」の開催も視野に入れ、運営メンバーで人々の交流の場の創出について意見交換しています。



▲「かたらんね」の様子

スマホ片手に、粕屋とつながる

「かたらんね」をはじめ、お花見バーベキュー、忘年会、新年会などの様々なイベントを開催しており、毎回20名から50名ほど、多い時には100名を超える方々が集まります。

これらの多様なイベントを通じて参加者同士が繋がるなど、かすや町を盛り上げる会が新しい出会いの場となっています。

団体の活動目的は「集客」ではなく「交流」です。金銭面などで無理なく活動が続けられるよう、イベントの告知は全てSNSを通じて行っています。運営メンバーも定期的な会合は持たず、時間や場所にとらわれないSNSを活用して、連絡を取り合っています。



▲お花見BBQの様子

出会いが未来を紡ぐ

粕屋町という行政区域にとどまらず、その枠を超えて、一緒に地域を盛り上げたいという想いから、団体名を「かすや（スペース）町を盛り上げる会」として活動しています。

代表の小川さんは、「かすや町を盛り上げる会での出会いを耳にするたびに嬉しくなります。同じ地域に暮らす人々が出会い、交流を深める中で、アイデアや活動は自然に生まれてくるものです。その『場』を創出することこそが、私たちのミッションです。」と語ります。

粕屋町がより暮らしやすい町となることを願い、参加者それぞれが思い描く「粕屋町像」を語り合いながら、活動はこれからも続いていきます。

学校・子どもとともにつくる地域共生社会 ～伊左座校区協議体(水巻町)～

福岡県北部に位置する水巻町は、東を北九州市、西を遠賀川に挟まれた南北に細長い町です。秋には、遠賀川河川敷に広がる約6kmのコスモス園や八劔（やつるぎ）神社の大イチョウが、旬を鮮やかに彩ります。

今回は、地域と小学校のつながりの強さが特長的な「伊左座（いさざ）校区協議体」の取り組みについて紹介します。



◀「ふれあいフェスタ」囲碁・将棋・オセロ大会の様子

住民が創る「新しいまちのカたち」

本協議体は、住民同士のつながりを深め互いに支えあう地域共生社会を築くことを目指し、平成30年度に設立されました。伊左座小学校区内の7行政区が合同で、高齢者が住み慣れた地域で安心した生活が続けられるよう、医療・介護や住まい・生活支援などの課題解決のため「自分たちに何ができるか」を話し合う場として機能しています。

本協議体では、地域でのゴミ出しなど高齢者が抱える課題について、アンケートの配布・回収を住民自身が行い、集計結果をもとに協議体で話し合っており、様々な取り組みを実施するなど、自分たちで考え、行動する姿勢を大切にしています。



◀会議の様子

子どもたちも地域活動に参加

本協議体の特長は、高齢者が暮らしやすい地域共生社会づくりに学校や子どもたちが参加し、生きがいやにぎわいをつくり出している点です。

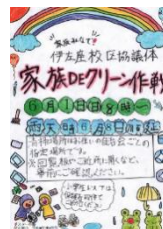
本協議体では、水巻町で年3回実施される環境美化の日に合わせ、「家族DEクリーン作戦」という清掃活動を行っています。

活動当初は、参加者の大半が高齢者でした。そこで、協議体に参加する小学校や中学校の校長先生を通じて、学校から子どもたちへの参加を呼びかけました。さらに、子どもたちから、告知のためのポスター・チラシのデザイン製作を自ら提案し、クリーン作戦への参加を促しています。

子どもたちからは「自分の絵が使われている!」といった喜びの声が聞かれ、この活動をきっかけに、自主的に地域のゴミ拾いを行う子どもたちもいるとのこと。また、清掃活動に参加した子どもたちにはお菓子を配るなど、「掃除」というよりも「イベント」として楽しめる工夫を凝らしています。これにより、活動が継続的に行われるだけでなく、住民同士の交流の場としても定着し始めています。



◀家族DEクリーン作戦の様子



地域の魅力を再発見

学校の授業をきっかけとして、子どもたちが、地域の行事に関心を持ち、地域の方へのインタビューを経て「お祭りガイド」を作成しました。子どもたちが案を作り、地域が監修したこの冊子は、行政も連携し、伊左座校区への転入者にも配布しています。

また、校区全体の祭りとなった「ふれあいフェスタ伊左座」は、小学校を通じて同校の全児童に告知されています。



▲ふれあいフェスタ「餅つき大会」の様子



◀7地区合同で開催する「ふれあいフェスタ」や、各地区のお祭り・行事が掲載されています。

世代を超えてつながる絆

田中区長（みずほ区）は、「小学校との連携を開始したことが大きい。地域と小学校が連携し、子どもたちを育てるという共通の思いで協力し合うことで、若い世代の地域活動への参加が少しずつ増加している」と語ります。

地域活動への関心を喚起し、共に活動する仲間を増やしたい協議体の思いと、地域全体で子どもたちを育てたいと考える学校の思いが相乗効果を生み出し、伊左座校区の未来が育まれています。

県庁お知らせ掲示板

福岡県こどもまんなかポータルサイトに「こどもの居場所マップ」ができました！

こどもがそれぞれの状況に応じて居場所につながるできるよう、県内にある、こども食堂やフリースペース、プレーパークなどのこどもの居場所をWebで探すことができる「こどもの居場所マップ」を公開しています。居場所マップでは、行きたい居場所を探したり、経路を検索したり、居場所の情報を知ることができます。

こんな居場所がほしいなどのアイデアも募集中です。

こどもの居場所マップぜひご利用ください！

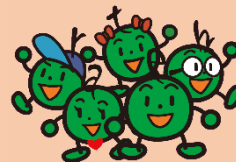


▲福岡県こども未来課 092-643-3577

こどもエコクラブ参加者募集中！

こどもエコクラブは、3歳から高校生まで誰でも参加できる環境活動のクラブです。自分たちの興味関心のある環境保全活動や環境学習を通して、子どもたちが人と環境の関わりについて幅広い理解を深め、地域の環境保全活動の環を広げることを目的としています。

登録料、年会費は無料です。登録すると、活動中の事故に伴う賠償をサポートする「賠償責任保険」の対象となるほか、協賛企業から活動に役立つグッズの進呈などもあります！



こどもエコクラブイメージキャラクター「エコまる」



▲福岡県環境政策課 092-643-3355

